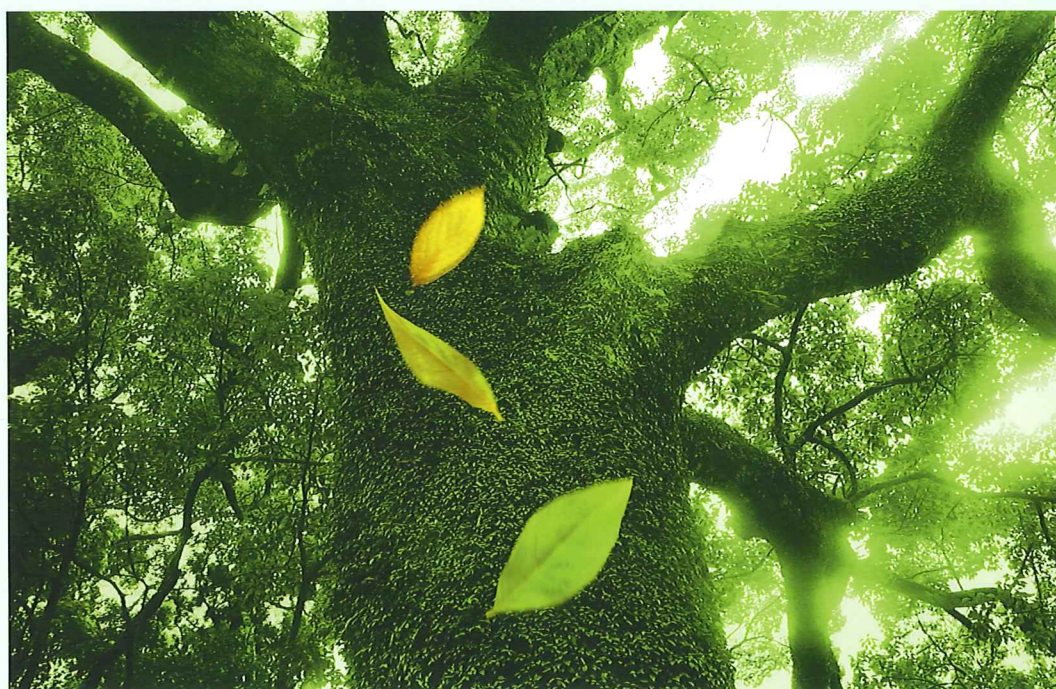


第19号

ひたちなか市文化協会会報「白亜紀」

# 白亜紀



ひたちなか市文化協会



題字

白亜紀

書道連盟顧問  
河野 秋月

由来

砂岩とシルト岩が互層を呈する7千5百万年前の中生代白亜紀の地層。白亜紀の岩に波の碎けるさまは悠久の命を感じさせる。文化芸術を創造し、享受し、文化的な環境の中で生きる喜びを見いだすことは、人々の変わらない願いである。人生は短く、芸術は永し、ひたちなか市文化協会の目指すものは悠久の芸術そのものである。

写真

写真連盟顧問  
福田 仁  
写真連盟会長  
平野 伸生

文

「表紙写真」に寄せて

文化協会が設立して四半世紀が過ぎ、『白亜紀』が刊行されて今年で19号を迎えた。表紙写真は、創刊以来一部を除き写真連盟に任されてきた。編集委員会からテーマを与えられた時もあるが、何方かといえ一任されたことが多い。

『白亜紀』は文化協会の顔でもあるので、これまでとは一変した“イメージ的作品”もどうかと内輪で話し合い、福田仁顧問にお願いしたのが今号の作品である。

氏は「木は自ら落とした葉を養分として大樹になる」。既成の概念から脱皮して新たなものを創造するのが芸術の根本理念ではないか。とのこと。苔むした古木の幹から四方に伸びる枝葉は、文化協会と加盟団体。樹宙に舞う3枚の葉は単なる病葉ではない。過去・現在・未来と新陳代謝・再生を表す。射し込む陽光は、黎明期から発展期に向かう希望・期待。と私は読み取る。

目次

会長あいさつ	1	伝統芸能部門	
コロナの後の		邦楽連盟	9
「夢と感動」の創造	1	吟詠剣詩舞連盟	10
令和2年度活動報告	1	民謡民舞連合会	11
活動報告	1	伝統文化連盟	11
総会	2	華道・茶道部門	
芸術祭	2	華道連合会	12
		茶道連合会	13
団体の活動紹介	3	文学部門	
美術部門		俳句連盟	13
美術協会	3	棋道部門	
書道連盟	4	囲碁連盟	14
陶芸協会	4	編集後記	14
写真連盟	5	文化協会組織図	15
音楽部門		ホームページ開設	15
合唱連盟	6		
市民吹奏楽団	6		
市民オーケストラ	7		
ジャズ連盟	7		
舞踊部門			
舞踊連盟	8		
洋舞踊協会	9		



令和2年度から現在まで、オリ  
ンピックさえも延期され、今まで  
経験したことのない困難に遭遇し  
ております。コロナの恐怖と戦い  
ながらも、命がけで私たちを守っ  
てくださっている医療従事者の  
方々に心から、感謝を申し上げます。

さて、例年行われている「ひた  
ちなか市文化協会総会」は、市

長、教育

長、市議会

及び来賓、

報道機関の

参加はな

く、文化協

会の理事・

代議員によ

る書面議決

の形で行いました。このような総  
会でしたが、今年度ひたちなか市  
文化協会会長に選出された川又淨  
範です。どうぞよろしくお願い申  
し上げます。

今年度、かねてよりの課題だっ  
た、文化協会のホームページが、  
昨年の10月に完成しました。これ  
により、文化協会の活動が映像を  
とおして、より生き生きと紹介で

きるようになりました。是非と  
も、沢山の方々に関覧していただ  
き、文化協会の魅力に触れ、とも  
に活動する会員や団体が増えてい  
くことを心から願っております。

今後、コロナ禍・変異ウイルス  
に依り活動が制約される不安もあ  
りますが、改めて文化協会の主な  
3つの行事について触れてみたい  
と思います。

## コロナの後の

## 「夢と感動」の創造

ひたちなか市文化協会

会長 川又 淨範

### ①「一日体験教室」

文化会館を会場に、5回目をむ  
かえ、例年約600名の参加があ  
ります。様々なジャンルの芸術文  
化を、見て・触って・新しい体験  
ができる絶好のチャンスです。次  
世代の文化の継承に大いに寄与で  
きる期待が高まります。

### ②「芸術祭」

各団体が独自に工夫を凝らして

### ③「春の祭典」

令和4年に行われる「春の祭  
典」は、これまで以上にステー  
ジ・会場・市民が一体となったプ  
ログラムが実現できたら素晴らし  
いと考えています。喜びを精いつ

ぱい表現で  
きる祭典に  
向けて夢を  
膨らませた  
いと思いま  
す。皆様の  
知恵をお借  
りできれば  
最高です。

現在、世界中が、これまでに体  
験したことのない安全への恐怖・  
不安等の閉塞感を感じています。  
このような時だからこそ、文化の  
果たす役割は大きいと思います。  
精一杯今を生き、地球上の思いや  
りとやさしきでコロナを乗り越  
え、夢と感動の実現を目指したい  
と思っています。

## 令和2年度 活動報告

4月10日 ・第1回理事会  
書面議決

4月20日 ・会計監査  
ふあみりこらぼ

5月15日 ・第2回理事会  
書面議決

6月 ・令和2年度総会  
書面議決

7月10日 ・第3回理事会  
ふあみりこらぼ

8月2日 ・第4回一日体験教室  
中止

9月28日 ・編集委員会  
ふあみりこらぼ

9月8日 ・芸術祭開催  
市文化会館他

5月2月14日 開催 5団体  
中止 15団体

10月23日 ・第4回理事会  
ふあみりこらぼ

2月14日 ・第15回 春の祭典  
中止



# 令和2年度総会 書面議決で！

今年度の総会は、5月22日に開催予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染症拡大の影響で緊急事態宣言に入り、安全を最優先に考慮した結果、書面審議による開催となりました。

理事会で総会提出議案等について書面議決された後に、代議員に書面審議を送付しました。結果については、提出した議案は、すべて賛成多数により承認いただいたことを報告します。

- ※・報告第1号 令和元年度事業実績
  - ※・報告第2号 令和元年度収支決算
  - ・議案第1号 令和2年度事業計画
  - ・議案第2号 令和2年度収支予算
  - ・議案第3号 理事の承認
  - ・議案第4号 正副会長の承認
  - ・議案第5号 監事の承認
- (※は理事のみ)
- 構成員65名(理事18名・代議員47名)  
返信者64名

今年度は役員改選の年に当たり、初見会長が退任され、理事会におい

て選出された案が承認されました。

## 文化協会新役員

- 会長 川又 淨範(市民吹奏楽団)
- 副会長 横須賀幸正(美術協会)
- 理事 大塚 浩(市民オーケストラ)
- 鎌田真理子(茶道連合会)

その他の議案として、7月の理事会で協議するため、現段階での芸術祭を開催するかどうかの可否を問い、過半数の方が中止を希望されました。また、沢山のご意見を頂き、ありがとうございました。

なお、8月2日(日)に開催予定の「一日体験教室」は、4月の理事会(書面議決)において中止決定となりました。

今年度の文化協会活動にもコロナ禍の影響を受け、緊急事態宣言や外出自粛などで、様々な分野の活動がストップした中、深刻な状況でのスタートとなりました。

新型コロナウイルスのパンデミックは世界中を不安と恐怖におとし、私たちの社会と地域での暮らしも大きく変わる一年となりました。

## コロナ禍の影響を受けた 芸術祭

### 芸術祭日程

- 11月3日 第50回民謡民舞秋まつり
- 11月15日 俳句大会
- 12月13日 バレエ&ジャズダンスフェスティバル
- 12月20日 市民吹奏楽団第36回定期演奏会
- 12月27日 Bトレイン28周年コンサート

### 開催中止の事業

- 9月8〜13日 美術展覧会(書道・陶芸)
- 10月4日 市民オーケストラ第39回定期演奏会
- 10月18日 吟詠剣詩舞大会
- 10月22〜23日 市内小中学校音楽会
- 10月31日 いけばな展
- 11月1日 茶道連合会茶会
- 11月8日 児童生徒作品展
- 11月11〜15日 第40回邦楽連盟三曲演奏会
- 11月15日 ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会
- 11月22日 美術展覧会(絵画・彫刻・写真)
- 11月23〜29日 日本舞踊公演&舞踊まつり
- 11月29日 合唱祭
- 12月6日 市囲碁大会
- 1月24日 第11回子ども伝統文化フェスティバル
- 1月24日 文化協会総合発表会
- 2月14日 「第15回春の祭典」

コロナ禍の影響により、多くの芸術・文化活動が延期や中止を余儀なくされており、今後の活動への影響も見通せない状況となっております。このような現状にあつて、今年度の芸術祭は、7月の理事会で開催の可否を各団体毎に判断を委ねました。コロナ禍で困難な状況や、第2波・第3波への警戒が怠れない状態などから、中止とする団体が過半数を超えました。なお、開催する団体は、感染予防策・安全対策を行った上で開催して頂き、皆様にはご不便をお掛けしましたが、ご協力いただきありがとうございます。

「春の祭典」の開催については、10月の理事会で中止決定となり、今年度は過去に例のない寂しい芸術祭になりました。

他の活動については、今後の状況を注視しながら、徐々に活動を再開しておりますが、普段の生活の中で、芸術や文化などに支えられていたか気付く機会でもありました。

今後の日常生活が、ウィズコロナ、アフターコロナで、どのような影響があり、これからはどう変わって行くのでしょうか。一日も早く平穏な生活に戻ることを願っております。



## 団体の活動紹介

現在18団体に2006名の会員が在籍し、様々な分野で芸術文化の向上に活動していますので紹介します。

## 美術部門

絵画で勇気と元気を届けたい

美術協会会長 横須賀 幸正

本年はコロナ禍の為計画していた行事（人物デッサン、風景画研修、市芸術祭等）が殆ど出来なくなり残念に思います。しかしながら出来る事はしなくてはなりません。美術協会は、今年で21年を迎えることが出来ました。第21回美術協会展を11月14日（土）29日（日）の16日間、ひたちなか市役所の那珂湊支所展示室で開催しました。今回は市と市教育委員会から後援を頂き感謝申し上げます。



【第21回美術協会協会展】  
那珂湊支所展示室…11/14(土)～29(日)

お陰様で会期中の来観者数は約600人以上ありました。展覧会開始前には、FMパールンで協会の紹介、及び協会展の開催周知が出来たことに感謝致します。開催中は茨城新聞、ケーブルテレビの取材を受けました。会員一人一人励みになりました。本年は勝倉小学校、中根小学校から絵画指導の依頼が有り教育サポートとして5名の会員が対応しました。しっかりとした教育者はおります

### 中根小学校の 出前授業

が、子供たちにとっても、現役の作家に触れることは大変有意義なことだと思えます。来年も依頼があれば対応して行きたいと思えます。

これからも市政と共に文化の発展に貢献出来るよう続けて参ります。また、より良い作品制作に励み研鑽して参りますのでご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



5年生 (指導担当: 磯崎氏)



3年生 (指導担当: 中村氏)



6年生 (指導担当: 三好氏)



4年生 (指導担当: 市毛氏)



## 令和2年度の活動状況

書道連盟副会長 飯塚 暁雲

書道連盟が例年行っている展示会は、新型コロナウイルスの感染が拡大したため中止となりました。

定期総会は4月に書類選考による役員改選等が行われ可決されました。10月9日に「ふあみりこらぼ」で役員会を開催。これは文化協会がホームページを11月に発信すると決定したことにより、書道連盟としてどのようなホームページを作るかまた問題点などを検討した役員会となりました。

書道は作品の掲載に音楽著作権が関係する場合があります。日本音楽著作権協会（JASRAC）のホームページで著作権の対象である著作物（歌詞等）かどうか調べる必要が大きいことが分かりました。作品を書く場合、不明瞭な点は役員に相談するなどして各自対応をしていきたいと思えます。

書道はコロナ禍にあってもペン字・筆ペン・半紙に大筆で書くなど場所を取らないで誰でも習うことが

できる素晴らしい芸術です。

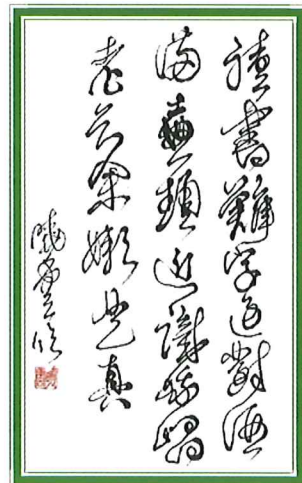
私がお奨めするのは、中国明末・清初代（約400年前）の傅山の書です。一筆書き？迷路？のように文字が繋がりが、連綿体が続きます。四字、五字繋がるのが当たり前のように書かれていて、筆順、筆路の表現が実に素晴らしく見ても飽きる

ことがありません。臨書（作品を真似して書くこと）する場合は、書き順を何回か書き損じの用紙に練習すると良いと思えます。この時代の書家には王鐸、倪元璐など書の歴史を代表する人物がいて、現存する作品は書を志す人の道標ともなっています。

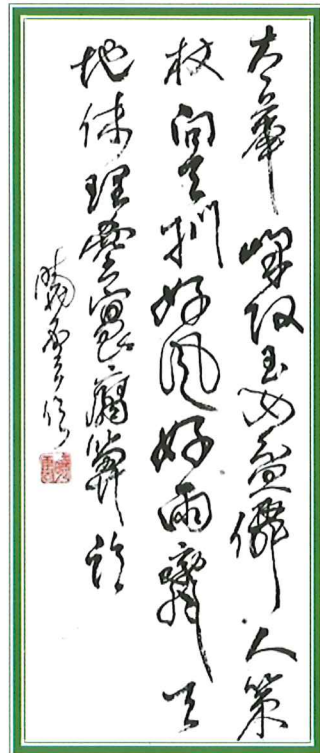
一筆書きや迷路のゲームがあります。この傅山の書もこのような感覚で考えると「意識動作」にも関係するのではないかと考えます。「意識動作」は、脳の活性化に繋がりが認知機能を常にリニューアルして認知症予防に良いといわれています。書道をやっていない

方もこの機会に書道に親しんでみては如何でしょうか。

参考までに傅山の臨書をしてみました。



読書難字過對酒  
滿壺頻近識峨嵋  
老知余嬾是真  
曉雲臨



太華峰頭玉女盆僂人策  
杖向天捫好風好雨齊天  
地休理塵寰腐算論  
曉雲臨

## 陶芸協会活動紹介

陶芸協会会員 安 隆己

ひたちなか市陶芸協会（以下陶芸協会）は、昭和53年より津田コミセン敷地内の陶芸室を拠点として、現在71名の会員で活動しています。

月に15日程度、陶芸室の作陶日を設けて、初心者とベテランの会員が混じって、自主活動グループまたは個人で活動しています。

陶芸室には、作陶に必要な作業台、主な陶芸道具、釉薬、電動ろくろ、電気炉などを備え、自由に作陶を楽しむことができます。

会員は、陶芸室での作陶、陶芸家を招いた技術講習会、窯元研修旅行、市芸術祭、県芸術祭への出展、文化協会主催春の祭典作品展示、陶芸協会展における成果発表等を通して、自己啓発、作陶技術の向上等を図っています。

また、陶芸協会の地域活動として、レッツ土曜陶芸講座の開講、文化協会主催一日体験教室、津田コミセン祭り展示・絵付け教室、保育園、社会福祉協議会などへの陶芸講師派遣



などの活動を行っています。

しかしながら、令和2年度はコロナ感染症対応のため、当初予定の行事計画のほとんどが中止を余儀なくされました。そのような中で6月以降、陶芸室での陶芸活動を再開するとともに、保育園、生活支援施設への出前陶芸、社会福祉協議会施設への講師派遣等を実施しました。また、10月3日から18日開催の県芸術祭では、会友・一般応募で11名の作品が展示されました。



陶芸室での作陶の様子

### 劇的に変わった街中の景色

写真連盟事務局長 羽田 昭男

中国に新型コロナウイルスが発生し、世の中が騒々しくなりかけた令和2年3月14日、当連盟の第22回写真展は、会場を従前の文化会館展示場から市那珂湊支所展示室に変更して開始しました。当時、茨城県にはまだウイルス感染者は発生しておらず、写真展の中間日（3月18日）には多くの人が期待しているギャラリートークを、開催する予定でいました。

ところが、前日（3月17日）に茨城県初の感染者が市内に発生し、市当局からの要請により急遽ギャラリートークは中止せざるを得なくなりました。

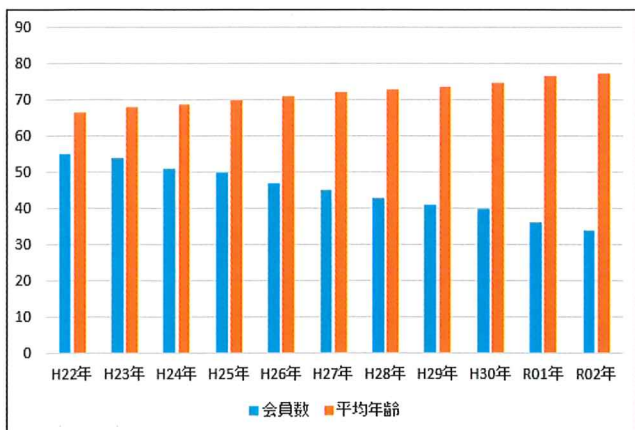
以来写真連盟の事業計画も次々と中止されることとなり、コロナの感染も2次、3次と拡大、街中の様子も一変し現在も巣籠り状態が続いています。また、県内には不要不急の外出自粛要請が出されており、次の写真展が無事開催出来るよう祈るばかりです。



作品研究会の様子(プリント作品)



第22回連盟写真展の会場の様子



写真連盟の会員数と年齢の推移

### 【下げ止まらない会員数】

私が初代会長仲田昭さんより事務局の業務を引き継いだのは、平成22年4月からですので、早いものでもう12年目を迎えることとなります。事務局を引き継いだ時点の会員数は55名、その後年々減少し令和2年の会員数は34名となり、今年も何人かのリタイヤが予定されている現状です。平均年齢も年々上昇しており、八十路を過ぎた今、あと何年写真活動が出来るのかと、不安の日々を過ごす昨今でもあるのです。



# 音楽部門

## 勝田混声合唱団の紹介

勝田混声合唱団

副団長 中村 登志則

当団は1984年に勝田市民混声合唱団として誕生、1995年に勝田混声合唱団に改名し通称「勝混」として現在に至っています。

実は昨年6月に創立35周年記念演奏会を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響には勝てず、延期を余儀なくされました。

そして今年4月に予定していた第22回演奏会に向けて練習に励んでいましたが、新型コロナウイルスの感染状況から演奏会は中止とし、練習も暫くは休むことにしました。

これまでの練習曲を簡単に紹介しますと①混声合唱組曲「海の詩」②混声合唱とピアノのための「にほんのうた」③混声合唱「7分で歌える西洋音楽史?」④混声合唱とピアノのための「イタリア歌めぐり」等バラエティに富んだ楽しい曲ばかりで



3密を避けての練習風景

す。晴れて練習が再開となった場合は日曜の午後に行っていますので「覗いてみたい」「聞いてみたい」「歌ってみたい」など興味のある方、怖いもの知らずの方は是非遊びにいらして下さい。団員一同心よりお待ちしております。

細部はホームページをご覧ください。ただければ幸いです。

<http://www.katsuta-konsei.com/>

## 活動紹介

市民吹奏楽団

事務局長 宮内 慶樹

当団では、令和2年12月20日に「第36回定期演奏会くみんなのおんがくかい14」を市文化会館大ホールにて、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら開催しました。

今回の演奏会は『えいがでたのしむおんがくかい』と『かぞくでたのしむおんがくかい』をテーマに、ディズニースタジオやスターウォーズなどの映画音楽、ドリフターズメドレーやクリスマス系の曲を演奏しました。

また、令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スプリングコンサートや数々のイベントが中止を余儀なくされましたが、練習時の検温や練習中の換気、練習会場の消毒などを実施しながら活動いたしました。

未だ、新型コロナウイルス

感染は収束しておりませんが、一日でも早く収束し平穏な生活や音楽活動ができるよう、感染拡大防止対策を実施しながら活動していきたいと思っております。

最後になりますが、ここまで活動を続けてこられたのも、市文化協会



第36回定期演奏会



のご支援やご協力があったからだと思います。心より感謝申し上げます。これからも聴いて下さる皆様笑顔になる演奏や、市民の皆様が愛されるバンドを目指して活動していきますので、市民吹奏楽団をよろしく願います。

そんな中、6月にはオーケストラ有志によるテレワーク演奏動画（夢をかなえてドラえもん）を作成し YouTube で配信いたしました。11月には市内の介護施設「デイサービス のばら」からの演奏依頼がありました。コロナ感染蔓延でお伺い

することが困難となりDVDを作成しお届けしました。曲目は、上を向いて歩こう、水戸黄門、シャボン玉、幸せなら手をたたこう、花のワルツ、楽器紹介など。映像はひたちなか市民オーケストラホームページからご覧下さい。

### 定期演奏会を終えて

Bトレイン・ジャズ・オーケストラ  
トランペット担当 川野 久

令和2年12月27日に市文化会館で第28回定期演奏会を行いました。コロナ禍の中、様々な制限を設けての開催でした。

お客様は予約制とし、席間を空けて座席数は約200席に限定。万一の感染拡大の際に来場者の把握が必要になるため、入場整理券には氏名、連絡先、当日の体温の記載をお願いしました。入場時の受付も簡素化し、今までの演奏会で行っていたお客様のお出迎えとお見送りにほとんどお会いすることができませんでした。

世の中がこのような状況で演奏会を行えるのか不安に感じていましたが、あらゆる状況を想定して準備から撤収まで行っていたいただいた幹部・首脳陣、関係者の方々のおかげで無事開催することができました。また、我々のメンバーとお付き合いのある、水戸啓明高等学校 Jazz Orchestra の皆

### 「コロナ禍の一年」

市民オーケストラ団長 櫛田 眞

今年度は新型コロナウイルスに振り回された一年でした。

4月初めに予定していたファミリーコンサートも2021年3月に延期と致しましたが、感染蔓延により中止と致しました。また、10月に予定していた定期演奏会も大人数での練習が前提となるため今年度は実施を断念いたしました。



「夢をかなえてドラえもん」 ひたちなか市民オーケストラテレワーク演奏



団員有志による「デイサービスのばら」依頼演奏の収録演奏





Guest 水戸啓明高等学校と共演

さんにゲスト出演していただき、一緒に演奏することもできました。最後に、このようにご時世のなか、熱心に聞いていただいたお客様に感謝いたします。ありがとうございました。



第28回定期演奏会より

## 舞踊部門

明日への希望と願いを

舞踊連盟

若柳 恵吾

今年度は予定していた全てが夢となってしまいました。



芸術祭より「屋敷娘」

## 思い出の舞姿二題

舞踊連盟40周年公演を11月29日(日)記念公演という事で東京より衣装、かつら、顔師等を、千葉より大道具等、依頼し公演する予定でしたが無念にも憎きコロナの為、断念する事になってしまいました。



春の祭典より

それに連なり、子ども伝統文化フェスティバル、春の祭典等の中止となり会員一同落胆の日々でしたが、今年こそは、今年こそはと祈り、希望を持って伝統文化である日本舞踊の発展と伝承を目標に掲げ努力して参ります。



洋舞踊協会会長 海野 真紀

前日のリハーサル、本来なら「手をのばして〜っ」「足をのばして〜っ」のところ、今年は「マスクして〜っ」「ソーシャルディスタンス〜っ」と叫んでいました。

とりあえず無事に終えることが出来ました。当日まではハラハラドキドキ。

そして当日からの2週間も同じくハラハラドキドキ。何事もなく2週間

たった日には

心から安堵し

たのですが、

気が付けば原

稿のしめきり、

たいへーん!

客席は通常の1/3の規制ですが、ほぼ満席となり、出演者一同コロナに負けずにがんばりました。



第2部 不思議の国のアリス



第1部 Flying Dancing2020



第4部 おもちゃ箱



第3部 オズの魔法使い ▶

邦楽連盟会長 初見 宗郷

2020年度の邦楽連盟の活動は、2月9日に市文化協会主催の春の祭典に参加のみで、初見社中が山本邦山作曲「陰陽句」、荒木古童編曲「越天楽の曲」の2曲を24名で演奏いたしました。「三曲演奏会」は新型コロナウイルスの影響で中止しましたので、今年度公開した文化協会のホームページで邦楽連盟を掲載したものを紹介いたします。



2020年文化協会春の祭典

伝統芸能部門

邦楽連盟ホームページ掲載紹介

邦楽連盟会長 初見 宗郷



邦楽会員による演奏「編曲八千代獅子」



【邦楽連盟加盟団体紹介】

団体名	活動場所	連絡先
石川 愛子 社中 (生田流箏・三絃教室)	自宅(津田2014-18) ㊸ ワーク・文化 他	029-272-7339
大須賀 佳緒里 社中 (山田流箏・三絃教室)	自宅(峰後3-7) ㊸ ワーク・文化・ アイカルチャーセンター水戸内原校 ひたちなか市水戸市つくば市の文化施設 他	029-263-0413
小倉 万和 社中 (山田流箏・三絃教室)	自宅(東石川13656-1) ㊸ ワーク・文化 他	029-274-5214
小林 久子 社中 (生田流箏・三絃教室)	自宅(中根4964-3) 大島コミュニティセンター・ ㊸ ワーク・文化 他	029-274-5860
根本 玉登恵 社中 (生田流箏・三絃教室)	自宅(高野2454-37) ㊸ ワーク・文化 他	029-285-5767
初見 佳秋 社中 (生田流箏・三絃教室)	自宅(西大島2-3-22) ㊸ ワーク・文化 他	029-273-9144
初見 宗郷 社中 (琴古流尺八教室)	自宅(西大島2-3-22) ㊸ ワーク・文化・ ザ・ヒロサワ・シティ会館 他	029-273-9144
森尻 雅智鳳 社中 (生田流箏・三絃教室)	自宅(東石川13705) ㊸ ワーク・文化 他	029-274-0939

※ ㊸ ワークはワークプラザ勝田・文化は市文化会館の省略です

詩吟(吟詠)は、漢詩や漢語体の文章に節をつけて吟じ、大衆芸術で、昔は「朗詠」と呼ばれていました。朗詠は仏教音楽である「声明」の影響もあって、平安期に盛んになり、宇多天皇時代には「和漢朗詠集」等が編纂され、隆盛を極めますが、鎌倉時代に入り衰退してしまいます。その節調は神楽歌に似た旋律で、現在の詩吟のような定型の旋律ではありませんでした。

しかし、江戸時代に入り、徳川幕府は儒学(朱子学)振

興政策をとります。その結果、中国の漢詩や儒学者によって漢詩が作られたりして、「朗詠」は再び隆盛期を迎えます。江戸時代後期には頼山陽や広瀬淡窓の流派が活躍しました。その節調は当時(江戸後期から明治初期)の旋律を5線譜に残した尾崎弥太郎の著書「西洋楽譜・日本詩吟集」によると、流派によって多少の差はあるが一定の共通した旋律をもっていたことを伝えていきます。しかし、その節調は現在の詩吟のものとは全く異なっています。

現在の詩吟の節調は「琵琶」から派生したものです。琵琶は鎌倉時代に盛んになりましたが、その後衰退します。琵琶は薩摩で長い間その命脈を保っていましたが、維新を経て、明治中頃から薩摩琵琶、筑前琵琶として全国的に流行しました。その琵琶の詞の中に漢詩が聞かせどころとして使われていました。その漢詩の部分に独立してできたのが現在の詩吟の元となりました。そして、明治・大正・昭和を通じて現代吟詠の祖と言われる木村学風を始め多くの吟詠の大家によって現在の詩吟が確立しました。

なお、2021年度は11月21日(日)に市文化会館小ホールで開催予定です。邦楽連盟は、三曲(箏・三絃・尺八)の向上発展を図るとともに、この伝統文化を後世に伝えることを目的に1981年に設立されました。設立時には、4社中50名でしたが、2020年現在、8団体104名と大きく発展してまいりました。この

間、芸術祭参加の三曲定期演奏会を毎年開催し、2019年には39回目を開催することができました。その他の活動としては、小中学校での邦楽授業・演奏、公民館での邦楽紹介・演奏、各種イベントでの演奏など幅広く行っています。また、2015年度から毎年、文化庁事業の伝統文化親子教室を展開し、伝統芸術を伝えるとともに、感性の豊かな人間形成に少しでも役立てようと伝統文化親子教室の事業を展開しています。

吟詠の系譜

吟詠剣詩舞連盟

事務局長 山下 勝司

令和2年度は世界的なコロナの蔓延で、連盟の発表大会と研修会、「春の祭典」等の吟詠剣詩舞連盟の公式行事は全て開催が見送られ、淋しい一年となりました。そういう訳でこの一年の活動の紹介は難しいことから少し詩吟の歴史についてお話しをしたいと思います。

その結果、中国の漢詩や儒学者によって漢詩が作られたりして、「朗詠」は再び隆盛期を迎えます。江戸時代後期には頼山陽や広瀬淡窓の流派が活躍しました。その節調は当時(江戸後期から明治初期)の旋律を5線譜に残した尾崎弥太郎の著書「西洋楽譜・日本詩吟集」によると、流派によって多少の差はあるが一定の共通した旋律をもっていたことを伝えていきます。しかし、その節調は現在の詩吟のものとは全く異なっています。



その節調は別名「ヨナ抜き短音階」という日本音階で、ラから4番目（レ）と7番目（ソ）を抜く短調の5音音階（ラ・シ・ド・ミ・ファ）で構成された共通の定型的な旋律となつていきます。詩吟は、“語りもの”とも言われ、その詠い方は語りの言葉の最後の音を伸ばして装飾を加える詠法（余韻という）で、そのため言葉の歯切れやアクセントそして詩の意味の理解等が重要視されます。詠う対象は主に漢詩ですが、現在は新体詩、現代詩も見られるようになります。又、歌謡曲などとコラボした歌謡吟詠が作られ大衆に親しまれています。

## 発足50周年を迎えて

民謡民舞連合会会長 柏倉 豊

昭和46年に結成され50周年記念の年を迎え、記念事業を計画の中、新型コロナウイルス感染症防止のため中止となりました。唯一市芸術祭参

加の秋まつり大会を、感染予防に万全を尽くして半分の内容規模ですが開催することができました。

芸術祭秋まつりのコンクール結果  
 優勝 黒澤 康男（愛好会）  
 準優勝 猪狩 仁子（楽友会）  
 第三位 網代志津子（柳の会）

また、市の伝統文化継承事業の一環で、今年度で4回目となる高野小学校を訪問し、5年生を対象に郷土民謡の体験指導を行いました。



功労賞表彰(令和3年1月25日) 在籍50年者 役員 支部長 貢献者

発足50周年を記念し、功労者表彰を在籍50年者11名を含む34名を表彰しました。

コロナ禍で活動が思うように進められない中、長年のボランティア活動が評価され、市社会福祉協議会会長賞と県知事賞を受賞できたことが喜びの記念となりました。

## コロナ禍活動自粛を糧に・・・

伝統文化連盟事務局長 鈴木 隆

伝統文化連盟は、平成19年に設立されましたが、ひたちなか市における芸術文化の更なる進展には、市文化協会加盟各団体の横の繋がりに伴う面的な広がりが必要ではないかとの思いか

ら組織されました。

当連盟の事業の一環として開催している「ふるさとの伝統芸術文化鑑賞会」は、その実践の場として定着し、多くの市民の皆さんに支えられ今日に至っております。今後、交流を通して会員の芸術的素養と資質の向上を図って参りたいと思っております。

なお、この鑑賞会は毎年11月末日の日曜日に開催しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス拡散防止の観点から開催を断念しております。令和3年度は11月28日(日)に市文化会館大ホールで開催予定です。



第1幕 思い出のメロディー 〈全国民謡の旅〉文化会館大ホール 2019.11/24(日)



終幕 音で綴る源氏絵巻 〈平安歳時記〉令和元年11/24(日) 市文化会館大ホール



【 役 員 紹 介 】

顧問	海野 透	宗郷 誉志男
会長	鈴木 初見	福田 佑子
副会長	鈴木 隆	
副会長		
事務局長	鈴木 隆	
(連絡責任者)	029-263-3003	
主任企画員	小林 章男	
企画員	小林 久子	
企画員	福田 仁	
会計(企画員兼任)	鈴木 安寿	
監事(企画員兼任)	初見 佳秋	



【 伝 統 文 化 連 盟 加 盟 団 体 紹 介 】

団 体 名	活 動 場 所	連 絡 先
琴古流尺八 「竹韻社」	市文化会館 ワークプラザ勝田 他	初見 宗郷 029-273-9144
生田流箏曲 「桐和会」	大島コミセン ワークプラザ勝田 他	小林 久子 029-274-5860
生田流箏曲 「白秋会」	ワークプラザ勝田 他	初見 佳秋 029-273-9144
琴伝流大正琴 「安寿琴の会」	市文化会館 ワークプラザ勝田 他	鈴木 安寿 029-263-3003
茨城県磯節保存会	保存会本部 他	福田 佑子 029-263-6363

華道・茶道部門

コロナと花を見つめて

華道連合会 会長 清水 豊正  
副会長 西連地玉芳

令和2年度の幕開けは新型コロナウイルスという未知の波が押し寄せ、私たちの通常の生活が一変いたしました。



華道連合会も、年数回行われている役員会、理事会は回数を減らしての開催となりました。また、各流派での研究会、社中での稽古もそれぞれの立場にて行われてきました。そんなコロナ禍の中でお花に向かい庭先や野山の自然に触れる花への想いは季節を通して深いものがあつた様な気がいたします。そしてコロナウィルスの一日も早い終息を華道連合会一同願っております。



小原流 杉山社中にてレリーフ作成



池坊研究会の様子



## 苦難に立ち向かって

茶道連合会

会長 高野 新一

歴史上に、種々悲惨な苦難は多々あり、多くの犠牲を払いながら乗り越えてきました。が、我々茶道連合会は、個人個人による注意によって乗り越えられない状態を含んでおり、伝統文化の萎縮を招きかねない非常事態です。

能力の向上を計る事により密を招き、又、お茶を点て進める事も出来ません。現状は、個々の教室で習練を続けている状態です。この様ななか、役員全員が、会長宅に集合し、今後の方向性を求め、非常事態に立ち向かう気持ちを一つにした次第です。



## 追悼

会長宅にて、来年度の会の一層の発展・充実を誓い会った日から、一週間後、長年役員として会の普及・能力向上に尽力して下さっていた、畠野カツエ（宗勝）様が、思わぬ不慮の事故により、永久の別れを告げなければならなくなりました。ここに深くご冥福を御祈り致します。

## 文学部門

### 一年の活動

俳句連盟会長 大野 ひろし

コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言に始まった4月からのこの一年は、多くの制約がある中での活動だった。5月の総会は議案の郵送で議事の承認を受け、総会句会は通信での紙上句会となった。また、機関紙「むつみ」の発行は、編集会議・配送作業等工夫を凝らし、例年通り隔月発行する事ができた。緊急事態宣言が解除され施設が使用できるようになってからは、通常通り月1回の例会を行い、10月には歴史館周辺での吟行会を行った。

(上位入賞句)

オルガンの遺る学校小鳥来る

藤 洋子

蓮の実の特急電車撃つ構え

高橋 和彌

身に入むや低き木の椅子木の机

小松崎黎子

市の芸術祭については、他の団体との兼ね合いで実施が危ぶまれたが、

感染防止に努め俳句大会を開催する事ができた。短期間の募集であったが、昨年並みの378句が寄せられ、当日は35名の参加者で行われた。

以下は大会の上位入賞「募集句」の部

市長賞 小原さち子

「お天道様」は母の口癖大根千す

市議会議長賞 高橋 和彌

補聴器を外し虫の音休ませる

市教育長賞 高橋つや子

鬼やんま風に折り目をつけてゐる

市文化協会会長賞 早瀬 貞夫

おいそれと冷めぬ地球に水を打つ

市俳句連盟会長賞 伏屋 雅子

横抱きにされし案山子のてれ笑ひ

大野ひろし会長特選 早瀬 貞夫

おいそれと冷めぬ地球に水を打つ

高橋 和彌講師特選 栗田イホ子

栗落つる音のさびしき拾ひけり

## 茶

養生仙薬

延齡妙術



「当日句」の部 席題(高)

市長賞 堀江八重子

子らの列リユック踊りて秋高し

市議会議長賞 大野ひろし

監獄の 高き石堀鳥渡る

市教育長賞 小松崎黎子

良妻も賢母もなれず 鴟高音

市文化協会会長賞 高橋 和彌

高枝鉄届かぬあたり 柚子たわわ

市俳句連盟会長賞 栗田イホ子

縁小春寝転ぶ猫の高軒

大野ひろし会長特選 末成 昭子

天高しダイグラボウの踏みし跡

高橋 和彌講師特選 堀江八重子

子らの列リユック踊りて天高し

棋道部門

囲碁連盟一年間の活動

囲碁連盟会長 藤谷 十一

囲碁連盟の主な行事は、対外的には県北市町村親善囲碁大会、姉妹都市(那須塩原市)親善囲碁大会および日立市が行う囲碁大会への自由参加があります。

毎年恒例となっているこれらの行事には積極的に参加して囲碁の友好親善に努めています。今年度は新型コロナウイルスの感染が懸念されるためにすべて中止になりました。残念な事態ですがやむを得ません。

内部行事としては、ひたちなか市囲碁大会が最大のもので、例年一月に行う参加者百五十人規模で近隣都市からの参加者も多数あります。でもやはりコロナの影響で中止にしました。

ほかに連盟内部の囲碁大会がありますがこれも自粛せざるを得ませんでした。

ただ大会はできませんでしたが、ミニ大会として毎週土曜日には少人数で集まって感染防止にとめながら対局を続けています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。

数で集まって感染防止にとめながら対局を続けています。これは研鑽の場としてレベルアップにおおきく役立っています。

ひたちなか市囲碁大会

(2019年度)



編集後記

今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、緊急事態宣言や外出自粛などで、多くの芸術・文化活動が延期や中止を余儀なくされました。文化協会の活動の一環でもありません。「一日体験教室」や「春の祭典」につきましても、感染拡大防止対策として、苦渋の決断により中止となりました。

今回の会報は、各団体「コロナ過」により計画されていました行事が中止となつてしまいました。『今できること』を模索した活動報告となっております。

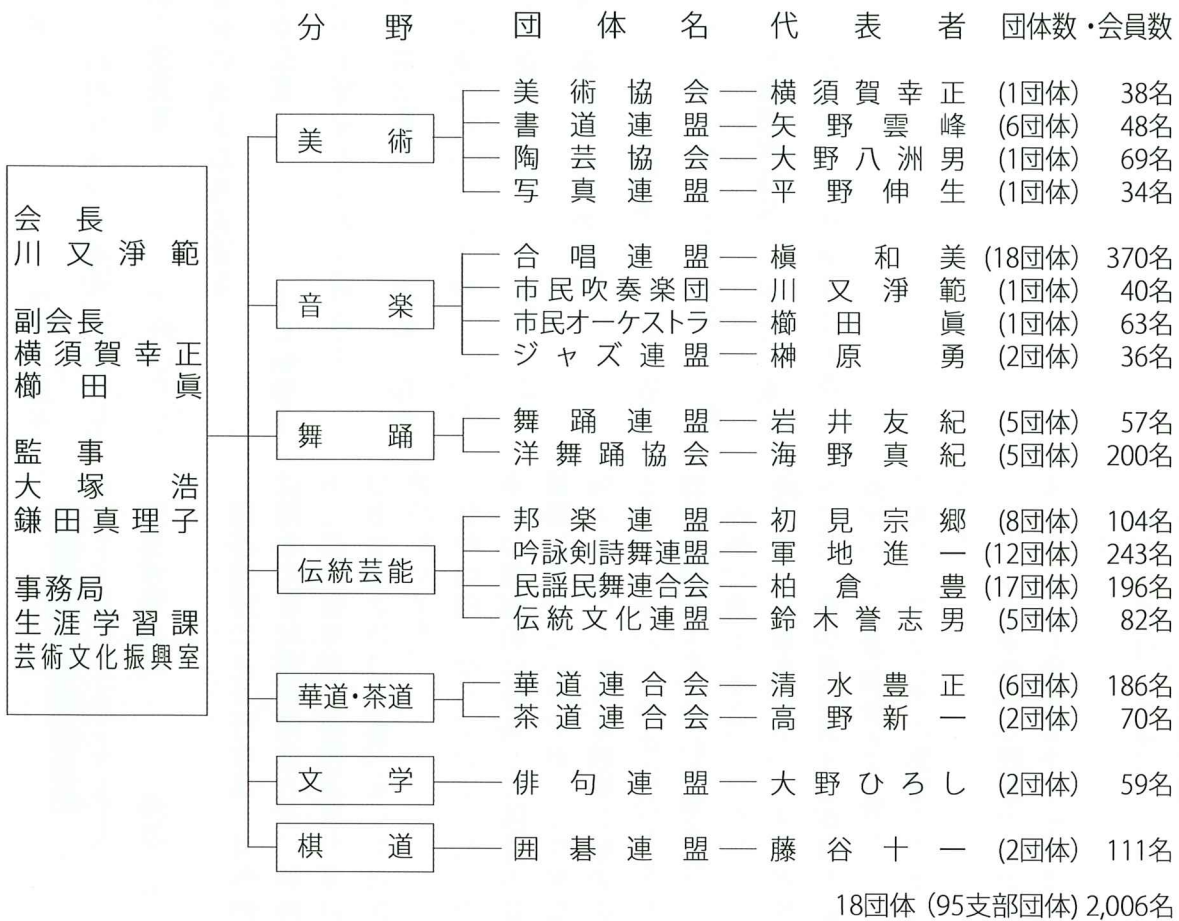
最後になりますが、事務局をはじめ、各団体のご協力によりまして、コロナ過の状況のなか「第19号 白亜紀」を刊行できましたこと編集員一同感謝申し上げます。

編集委員長

編集委員

- 委員長 (市民吹奏楽団) 宮内 慶樹
- (書道連盟) 是枝 和香
- (洋舞踊協会) 海野 真紀
- (伝統文化連盟) 鈴木 隆
- (華道連合会) 清水 豊正
- 事務局 芸術文化振興室
- 木田 伸子

# ひたちなか市文化協会組織図



会長  
川又浄範  
 副会長  
横須賀幸正  
櫛田眞  
 監事  
大塚浩子  
鎌田真理子  
 事務局  
生涯学習課  
芸術文化振興室

## 待望のホームページ開設

各団体共通の課題は、会員数の減少です。高齢化が進む中で、次の世代を担っていただける若い方の入会を増やしていく必要があります。理事会でホームページ作成の提案があり、70%の賛成を得て今年度より開設の準備を進めてきました。

ホームページで、協会事業や各団体の活動について広く皆様に知っていただき、気軽に芸術文化に親しむきっかけになればとの思いで立ち上げ、理事会で協議のうえ、令和2年10月23日から開設しました。

開かれた芸術文化活動の推進に努めるとともに、協会としての様々な情報をリアルタイムで発信いたします。

ぜひ、ご覧くださいるようお願いいたします。

- 内容
- ホーム
  - 会長あいさつ
  - 団体一覧
  - イベント・演奏会
  - 会報「白亜紀」
  - お問い合わせ

ひたちなか市文化協会 検索

<https://www.hitachinaka-ca.org>

## 会 員 募 集 中

いつでもお気軽に入会をお待ちしております！

ひたちなか市文化協会加盟団体では、会員を随時募集しております。一緒に活動参加しませんか。お気軽にお問い合わせください。

【連絡先】ひたちなか市文化協会事務局 ☎ 029-272-6301

メールアドレス [geibun@city.hitachinaka.lg.jp](mailto:geibun@city.hitachinaka.lg.jp)

ホームページ <https://www.hitachinaka-ca.org>



会報  
発行日  
発行者  
事務局

白 亜 紀

令和3年3月31日

ひたちなか市文化協会

ひたちなか市市民生活部生涯学習課  
芸術文化振興室（ふぁみりこらぼ内）

TEL 029-272-6301

FAX 029-272-9297